

エコアクション21

環境経営レポート 2024



対象期間(2024年4月1日～2025年3月31日)

COSMOSWEB

株式会社コスモスウェブ

〒989-3122 宮城県仙台市青葉区栗生5丁目4-1

TEL: 022-302-8520 FAX: 022-392-0270

HP: <http://www.cosmosweb.com>



環境省
エコアクション21
認証 0013280

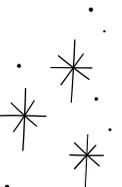
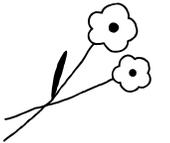
目次

1.	トップメッセージ P. 2
2.	会社概要 P. 3
3.	環境経営方針 P. 4
4.	事業内容 P. 5
5.	実施体制 P. 8
6.	環境経営目標と環境経営計画 P. 9
7.	環境経営目標・計画の実績と評価 P.11
8.	取組み内容と評価 P.22
9.	環境関連法規 等 遵守状況 P.25
10.	次年度の環境経営目標と環境経営計画 P.26
11.	代表者による全体評価と見直し P.28



経営理念

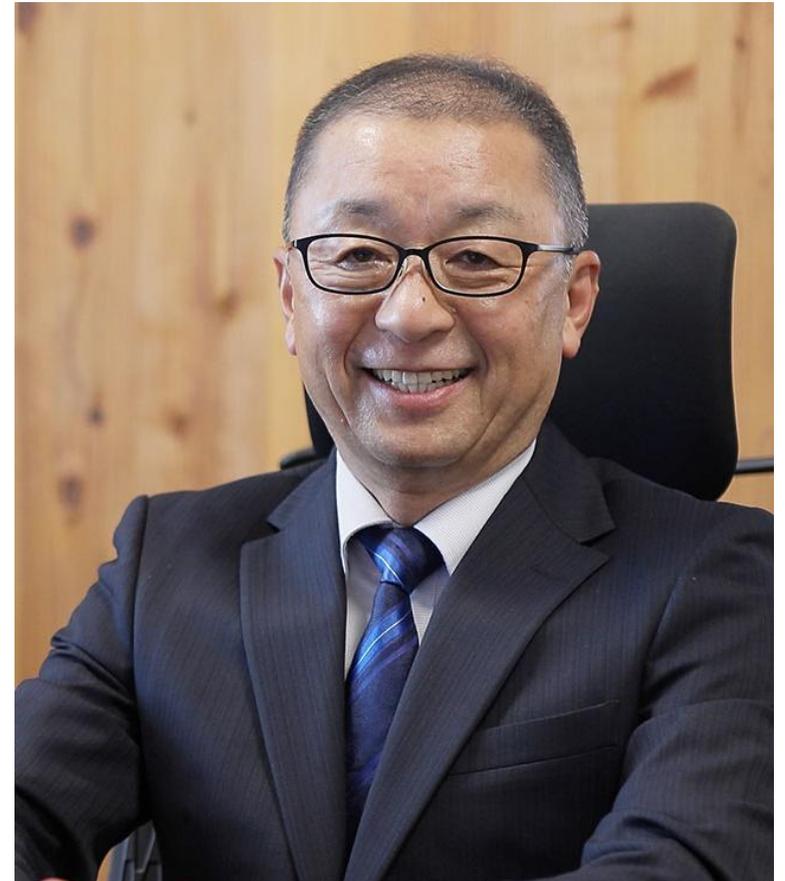
全従業員の物心両面の幸福の追求と
常に仕事を通して感動し
人に対しては感謝をわすれない。



科学技術の進歩はめざましく、刻々と状況は変化しています。私たちも常に新しい分野への進出、新しいものを追い求めることを止めるわけにはいきません。当社は受託開発を基本として、プリント基板の試作から卓上ロボットなどの生産設備の開発・生産まで幅広く手掛けてきました。ソフトウェア設計、ハードウェア設計、基板ネットワーク設計、メカ設計などの各技術を融合させ一貫した流れでお客様のニーズにお応えしています。

今後も受託開発が当社の事業ベースであることに変わりはありませんが、受託開発、ロボット事業に次いで第三の柱となる新しい分野へのさらなるチャレンジをはじめました。それは、宮城から発信する医療機器分野です。医療機器事業ははじまったばかりですが、事業拡大に向け期待は大きいです。これまで以上に地元宮城県のお客様はもちろん、産学官の連携、外部の協力会社等との協力関係を深めながら、当社の使命を果たしていく所存です。

株式会社コスモスウェブ
代表取締役社長
吉村直幸



2. 会社概要

事業所名
代表者
所在地

株式会社コスモスウェブ
代表取締役社長 吉村 直幸

■ 本社
〒989-3122
宮城県仙台市青葉区栗生5丁目4-1

■ 愛子工場
〒989-3125
宮城県仙台市青葉区下愛子字横町前33-26

■ 仙台工場
〒989-3122
宮城県仙台市青葉区栗生6丁目2-5

■ 宇都宮営業所
〒321-0953
栃木県宇都宮市東宿郷3-1-12
吉田エレクトロニクスオフィスビル5F

■ 山形R&Dセンター
〒990-2473
山形県山形市松栄2丁目2-1
山形県高度技術研究開発センター内 103

■ 福島営業所
〒960-0102
福島県福島市鎌田字御飯屋76
スタービル2-2号室

設立
資本金

1989年11月
7,000万円

環境管理責任者
E A 2 1 事務局
連絡先

佐藤 政則
松崎 晃
TEL (022)302-8520
FAX (022)392-0270
MAIL noboru.matsuzaki@cosmosweb.com
HP <http://www.cosmosweb.com>

事業活動
認証・登録範囲

プリント基板の設計・製造、ハードウェア・メカ設計
ソフトウェア開発、生産設備・医療機器等の製造・販売

本社，愛子工場
宇都宮営業所，山形R&Dセンター
福島営業所，仙台工場
※2025年 株式会社東北エヌイーエレクトロ
一括認証予定

対象期間
発行日

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
2025年6月27日 発行



基本理念

株式会社コスモスウェブは、生産装置や医療機器の開発・製造・販売を通じ、事業活動が地球環境へ与える負荷を認識し、負荷削減に向け積極的に取り組みます。

新たな技術で環境活動と工業分野・医療分野へ挑戦し続け全従業員が自ら豊かで働きやすい会社を築いていくことで地域社会と地球環境の保全へ貢献していきます。

行動指針

- 1 事業活動に伴って排出される二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- 2 事業活動に伴って排出される廃棄物の削減やリサイクルに取り組めます。
- 3 水資源の効率的な利用に努め水使用量や排出量の削減に取り組めます。
- 4 製品の開発・生産において環境に配慮したものづくりを目指します。
- 5 顧客クレーム・無駄作業の削減を図り品質向上に努めます。
- 6 当社に求められる環境関連法規を遵守します。
- 7 環境方針を全従業員に周知すると共に環境経営の継続的な改善をおこないます。

制定日 2020年10月1日

改定日 2021年 4月1日

代表取締役社長 吉村 直幸



コスモスウェブは、プリント基板の設計・製造、ハードウェア・メカ設計、ソフトウェア開発などの受託開発および製造を中心に成長してきた会社です。現在は多くの技術・ノウハウも蓄積されてきており、自社開発機器（生産設備卓上ロボット）の設計・開発・製造から販売をおこなっています。また、医療分野への参入をはたし、第二の自社開発機器として医療機器の開発・設計・製造・販売をおこなっています。

設計・開発から量産までワンストップで提供

当社の特徴はソフトウェア設計、ハードウェア設計、アートワーク設計、メカ設計の各技術を有し、ワンストップで提供できることです。製造においても部材調達から「基板実装」「外注加工」「組立・配線・調整・検査」、さらに量産製造までお手伝いいたします。もちろん基板実装1枚からも対応可能です。



4. 事業内容

ソフトウェア設計

様々な分野の開発実績を活かし、
医療機器ソフトウェア開発にも対応。

アートワーク設計

回路設計者や基板・実装メーカーの
様々なニーズに応えた設計品質。

コスモスウェブの
技術力

メカ設計

お客様の仕様に合わせ
要望をもれなく盛り込み設計。

ハードウェア設計

ジャンルを問わず幅広く対応。
産業用検査装置を得意としています。

4. 事業内容

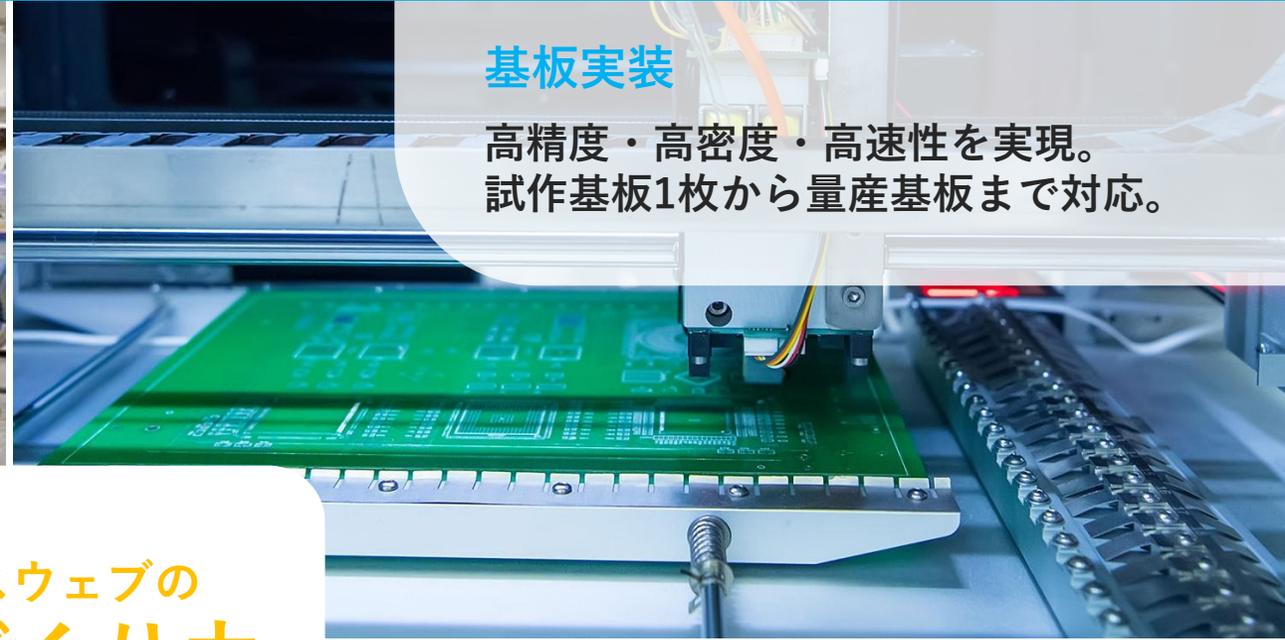
部品調達

300を超える仕入先との信頼関係で
品質、コスト、スピードを備え調達。



基板実装

高精度・高密度・高速性を実現。
試作基板1枚から量産基板まで対応。



コスモスウェブの
ものづくり力

外注加工

確かな品質と精度、基準をクリアした
各種加工会社との連携が生産力を高める。

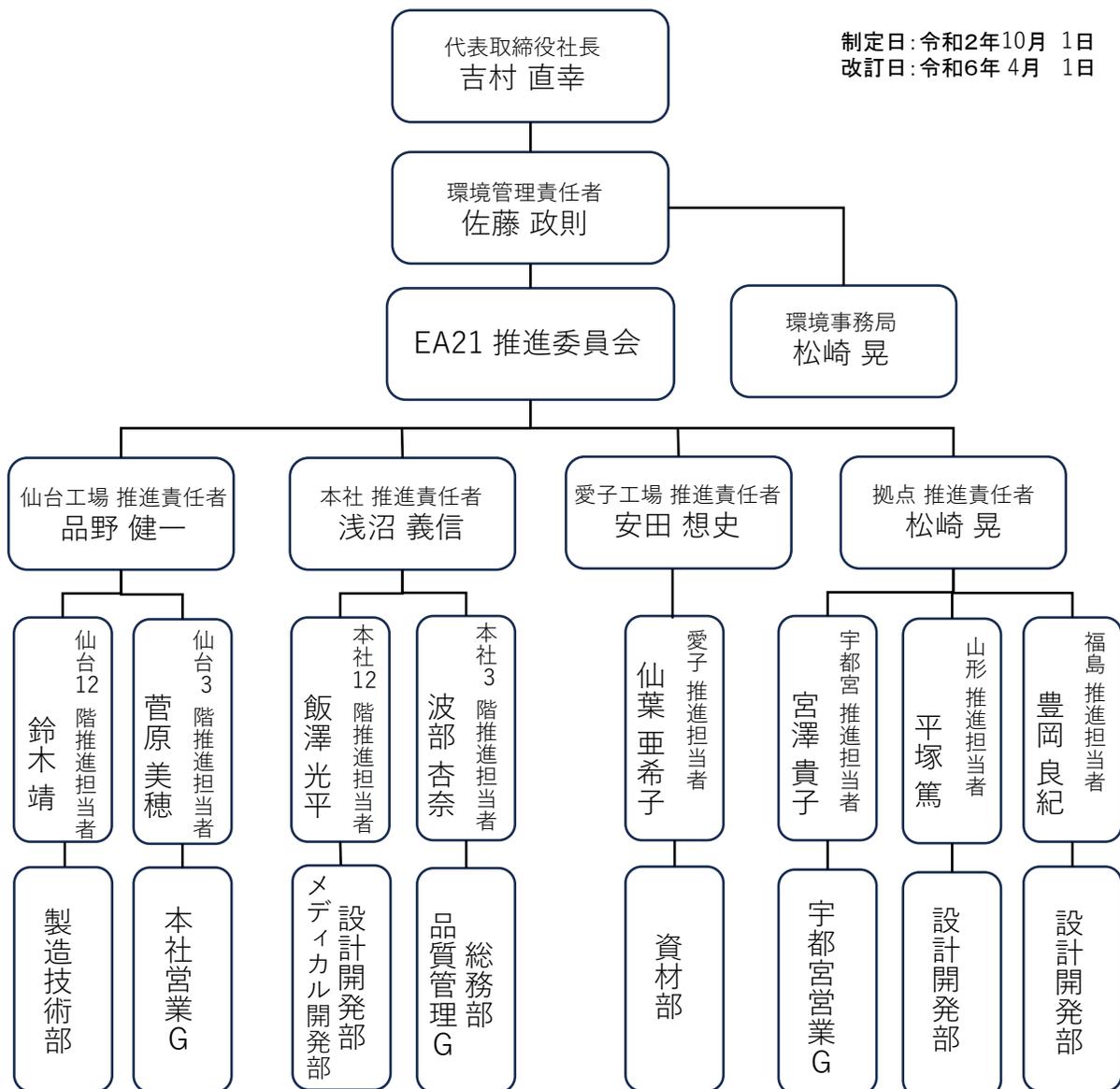


組立・配線・調整・デバック

メカ設計と密に連携したものづくり力。
チーム力を活かして確かな製品をお届け。



5. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間の準備をする 実施体制を構築する（組織図及び役割・責任・権限 / 環境管理者の任命） 経営上の課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知をする 環境経営目標・環境経営計画を承認する 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理を行う（代表者よりEA21の権限を委任） 環境経営目標・環境経営計画を確認・承認する 環境関連法規等の取りまとめ表を承認する 教育・訓練の実施を指示する 環境経営の取組結果を代表者へ報告する
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21の推進をする 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施をする 環境経営目標、環境経営計画の原案作成をする 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び表に基づく遵守評価の実施をする 環境経営の実績集計をする 環境経営レポートの作成をする 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境関連文書・記録の管理を行う
推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> 拠点において環境経営方針を周知をする 拠点において環境システムを実施する 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> フロアに関連する環境経営目標及び計画の実施・確認・評価及び達成状況の報告 実施上フロアの問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚する EA21で決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加する

6. 環境経営目標と環境経営計画

環境経営目標

項目	基準年度	実績値	環境経営目標 (2024年4月1日～2025年3月31日まで)		中期経営目標 (期間: 2025年度～2027年度)				
			内容	目標値	内容	2025年	2026年	2027年	
二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量	2023年	189,166.54 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	183,500 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (5,674.99 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
	■電気使用量の削減	2023年	139,528.09 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	135,400 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (4,185.84 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
	■ガソリン使用量の削減	2023年	41,496.61 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	40,250 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (1,244.89 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物排出量の削減	2022年	96.12 kg	基準年度実績の3%削減 (可燃ごみ、ペットボトル・缶、紙)	93.00 kg	基準年度実績からの3%削減 (2.88 kg)	3%削減	3%削減	3%削減
	■コピー用紙の削減	2022年	277,289 枚	基準年度実績の3%削減	268,970 枚	基準年度実績値からの3%削減 (8,319 枚)	3%削減	3%削減	3%削減
	■産業廃棄物の削減	2023年	1,697.00 kg	基準年度実績の3%削減	1,645 kg	基準年度実績値からの3%削減 (50.91 kg)	3%削減	3%削減	3%削減
	■有価リサイクル	-	-	金属くず類、基板、雑線の売却	-	有価物の把握、分別の徹底 回収業者の新規開拓	-	-	-
水使用量の削減	■水使用量の維持・励行 ※実績は確認できる3拠点のみ (本社・愛子工場・仙台工場)	2023年	578 m ³	基準年度実績値からの維持 (範囲 ±5～10% 以内)	560 ～ 680m³ 内	基準年度実績値からの ±5～10%範囲維持	±5～10%	±5～10%	±5～10%
製品サービス関連	■顧客クレームの削減	2022年	50件	月件数3件以内	36 件以内	基準年度実績値からの20%削減	20%削減	20%削減	20%削減
その他	■コミュニケーション向上	2022年	年/1回	環境教育の実施	年/1回	環境教育の実施	1回実施	1回実施	1回実施
	■地域貢献活動	2022年	年/4回	会社周辺清掃活動	年/4回 (3ヶ月/1回)	会社周辺清掃活動	年4回実施	年4回実施	年4回実施

6. 環境経営目標と環境経営計画

環境経営計画

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)
二酸化炭素排出量	■電気使用量の削減	■不要エリア消灯の継続	通年	全社	全員
		■エアコン・換気扇のフィルター清掃	6月、12月	全社	掃除担当
		■ノー残業デーの継続	通年	全社	全員
		■空調の適温化（温度管理の継続）	通年	全社	GM、Mg
		■デマンド監視を利用した電力管理	通年	本社	EA21事務局
	■ガソリン使用量の削減	■エコドライブの推進	通年	全社有車	車両運転者全員
	■車両点検の実施（空気圧、摩耗点検）	毎月	全社有車	管轄部署	
廃棄物	■一般廃棄物の削減	■分別の徹底（可燃ごみ、紙リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■コピー用紙削減の継続	通年	全社	全員
		■ペーパーレスの推進	通年	全社	全員
		■排出量の把握（可燃、缶ペット、紙）	通年	全社	EA21推進員
	■産業廃棄物の削減	■分別の徹底（廃棄物、リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■廃棄物の資源化（基板、金属リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■各作業工程での廃棄材料の削減	通年	全社	全員
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	総務	EA21事務局
水	■水道使用量の削減	■水使用時の節水推進の継続	通年	全社	全員
製品・サービス	■顧客クレームの削減	■品質会議の開催	毎月	品質管理G	品質会議メンバー
その他	■地域貢献・環境保全	■会社周辺道路の清掃活動の継続	毎月	会社周辺	担当者
	■環境教育の実施	■全社員へ環境に関する教育を実施	2月	全社	EA21推進員
	■環境への意識向上	■マイ箸、マイ水筒、マイバックの推進	通年	全社	EA21推進員

7. 実績と評価

環境経営目標

達成状況評価

◎：非常に良い △：基準年度並み〜やや悪い
○：良い ×：悪い

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		中期経営目標（期間：2025年度～2027年度）			達成状況	評価 / 対策等			
			内容	目標値	内容	2025年	2026年			2027年		
二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量	2023年	189,166.54 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	183,500 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (5,674.99 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 182,061.23 kg-CO2 基準年度比 96.2% (3.8%減)	◎	二酸化炭素総排出量の7割を占める電気使用量が基準年度比94.0%と減っている
	■電気使用量の削減	2023年	139,528.09 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	135,400 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (4,185.84 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 128,868.95 kg-CO2 基準年度比 92.4% (7.6%減)	◎	仙台工場・愛子工場の電気使用量の減少が起因となった
	■ガソリン使用量の削減	2023年	41,496.61 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	40,250 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (1,244.89 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 46,358.50 kg-CO2 基準年度比 111.7%	×	ハイブリッド車は導入しているが出張・外出する機会が増えガソリン使用が増えたとした
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物排出量の削減	2022年	96.12 kg	基準年度実績の3%削減 (可燃ごみ、ペットボトル・缶、紙)	93.00 kg	基準年度実績からの3%削減 (2.88 kg)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 84.34 kg 基準年度比 87.7% (12.3%減)	◎	可燃ごみ、資源ごみ共に全体的に減少している。ペーパーレス化が進んだ事も起因となった
	■コピー用紙の削減	2022年	277,289 枚	基準年度実績の3%削減	268,970 枚	基準年度実績値からの3%削減 (8,319 枚)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 205,844 枚 基準年度比 74.2% (71,445枚減)	◎	書類のデータ化によるペーパーレス化が進んだことが起因となった
	■産業廃棄物の削減	2023年	1,697.00 kg	基準年度実績の3%削減	1,645 kg	基準年度実績値からの3%削減 (50.91 kg)	3%削減	3%削減	3%削減	実績 2,222 kg 基準年度比 130.9%	×	今期は不動態在庫処分による廃プラスチックの廃棄が増えた
	■有価リサイクル	-	-	金属くず類、基板、雑線の売却	-	有価物の把握、分別の徹底 回収業者の新規開拓	-	-	-	回収業者を開拓したが、今期は廃棄として処分を行った	○	来期は有価物として処分する
水使用量の削減	■水使用量の維持・励行 ※実績は確認できる3拠点のみ (本社・愛子工場・仙台工場)	2023年	578 m ³	基準年度実績値からの維持 (範囲 ±5～10% 以内)	560～680m ³ 内	基準年度実績値からの ±5～10%範囲維持	±5～10%	±5～10%	±5～10%	実績 624 m ³ 基準年度比 ±7.9%	◎	駐車場建設のために使用量が 増えたものの維持範囲内での 使用に抑えられた
製品サービス関連	■顧客クレームの削減	2022年	50件	月件数3件以内	36 件以内	基準年度実績値からの20%削減	20%削減	20%削減	20%削減	実績 45 件 基準年度比 △5 件	△	基準年度からは5件減少したが、 目標には届かず。引き続き削減を 目指す
その他	■コミュニケーション向上	2022年	年/1回	環境教育の実施	年/1回	環境教育の実施	1回実施	1回実施	1回実施	廃棄工場見学を計画していたが時期が折り合わず未実施だったか全社へ環境レポートの共有を行った	◎	引き続き、環境レポートの共有を 測り、次回はテーマを設定し、環 境に関する勉強会も行いたい
	■地域貢献活動	2022年	年/4回	会社周辺清掃活動	年/4回 (3ヶ月/1回)	会社周辺清掃活動	年4回実施	年4回実施	年4回実施	各工場3ヶ月1回実施済	◎	拠点ごとに実施することができた

環境経営計画

(結果欄 / ○:実施済)

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)	結果	
						2024/4- 2024/9	2024/10- 2025/3
二酸化炭素排出量	■電気使用量の削減	■不要エリア消灯の継続	通年	全社	全員	○	○
		■エアコン・換気扇のフィルター清掃	6月、12月	全社	掃除担当	○	○
		■ノーマル残業デーの継続	通年	全社	全員	○	○
		■空調の適温化（温度管理の継続）	通年	全社	GM、Mg	○	○
		■デマンド監視を利用した電力管理	通年	本社	EA21事務局	○	○
	■ガソリン使用量の削減	■エコドライブの推進	通年	全社有車	車両運転者全員	○	○
	■車両点検の実施（空気圧、摩耗点検）	毎月	全社有車	管轄部署	○	○	
廃棄物	■一般廃棄物の削減	■分別の徹底（可燃ごみ、紙リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員	○	○
		■コピー用紙削減の継続	通年	全社	全員	○	○
		■ペーパーレスの推進	通年	全社	全員	○	○
		■排出量の把握（可燃、缶ペット、紙）	通年	全社	EA21推進員	○	○
	■産業廃棄物の削減	■分別の徹底（廃棄物、リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員	○	○
		■廃棄物の資源化（基板、金属リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員	×	×
		■各作業工程での廃棄材料の削減	通年	全社	全員	○	○
	■マニフェスト・契約書類の管理	通年	総務	EA21事務局	○	○	
水	■水道使用量の削減	■水使用時の節水推進の継続	通年	全社	全員	○	○
製品・サービス	■顧客クレームの削減	■品質会議の開催	毎月	品質管理G	品質会議メンバー	○	○
その他	■地域貢献・環境保全	■会社周辺道路の清掃活動の継続	毎月	会社周辺	担当者	○	○
	■環境教育の実施	■全社員へ環境に関する教育を実施	2月	全社	EA21推進員	○	○
	■環境への意識向上	■マイ箸、マイ水筒、マイバックの推進	通年	全社	EA21推進員	○	○

7. 実績と評価 【 二酸化炭素排出量の削減 】

二酸化炭素排出量

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い



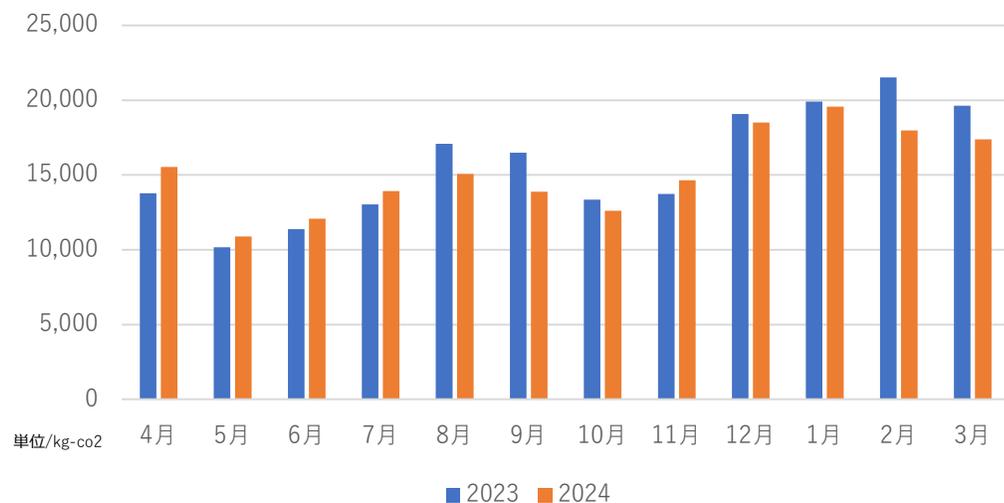
項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
二酸化炭素排出量	2023年	189,166.54 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	183,500 kg-CO2	実績 182,061.23 kg-CO2 基準年度比 96.2% (3.8%減)	◎ 二酸化炭素総排出量の7割を占める電気使用量が基準年度比94.0%と減っている

二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	13,777	10,163	11,386	13,034	17,085	16,489	13,353	13,742	19,083	19,899	21,511	19,624	189,146.50
2024	15,542	10,892	12,081	13,916	15,068	13,876	12,607	14,650	18,506	19,570	17,976	17,377	182,061.23

* 電気の二酸化炭素排出係数は、令和3年度電力調整後排出係数参考
 * 電気業者/エネサーブ株式会社 排出係数/0.568kg-CO2/kwh 他4社

月別 二酸化炭素排出量



評価

基準年度と比べ96.2%となり、7,105.31kg-CO2減となった。総排出量の3割にあたる、愛子工場、仙台工場2拠点の減少も大きく起因している。

- ※愛子工場… 4,315.54kg-CO2 削減
- ※仙台工場… 5,424.10kg-CO2 削減

本社に関しては微増だが、基準年度並みの排出量となっている。一方で今年度はガソリン使用が増え、排出量も増えている。

- ※ガソリン… 4,861.89増加となっている。

7. 実績と評価 【 二酸化炭素排出量の削減 】

電気使用量の削減

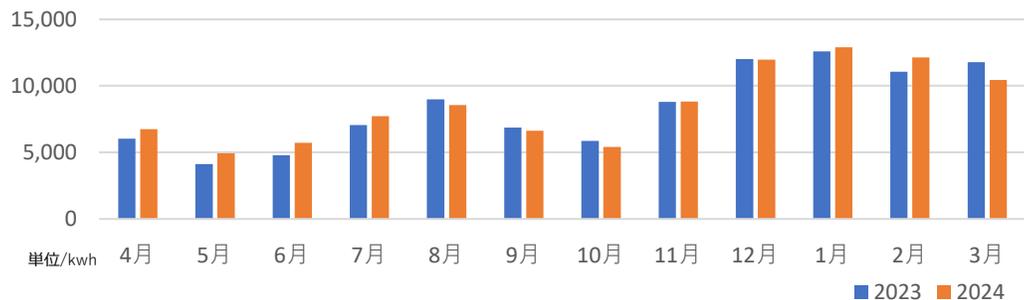
達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み〜やや悪い
 ○：良い ×：悪い



項目	基準年度	実績値	環境経営目標 (2024年4月1日~2025年3月31日まで)		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
電気使用量の削減	2023年	139,528.09 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	135,400 kg-CO2	実績 128,868.95 kg-CO2 基準年度比 92.4% (7.6%減)	◎ 仙台工場・愛子工場の電気使用量の減少が起因となった

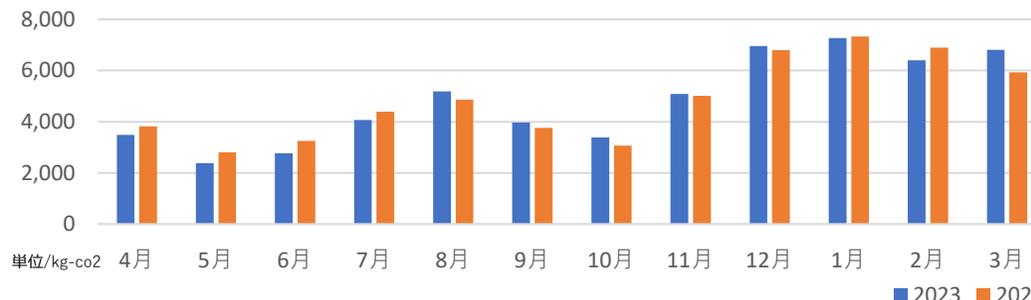
本社 電気使用量 (kwh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	6,028	4,127	4,796	7,046	8,973	6,864	5,870	8,794	12,020	12,571	11,064	11,778	99,931
2024	6,731	4,932	5,719	7,720	8,552	6,617	5,407	8,816	11,957	12,902	12,128	10,428	101,909



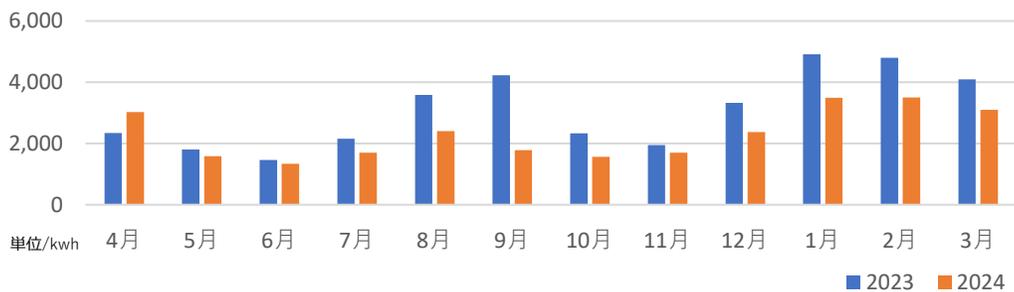
本社 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 電気業者/エネサーブ(株) 排出係数/0.568kg-CO2/kwh

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	3,484	2,385	2,772	4,073	5,186	3,967	3,393	5,083	6,948	7,266	6,395	6,808	57,760
2024	3,823	2,801	3,248	4,385	4,858	3,758	3,071	5,007	6,792	7,328	6,889	5,923	57,884



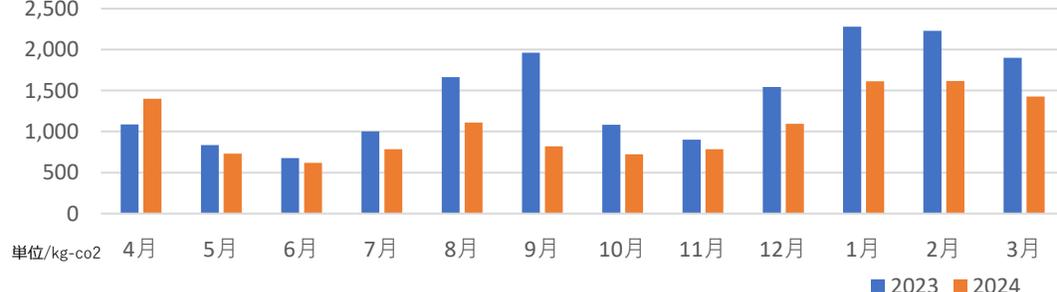
愛子工場 電気使用量 (kwh) 電気業者/エネサーブ(株) 排出係数/0.568kg-CO2/kwh

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	2,338	1,802	1,460	2,156	3,586	4,226	2,332	1,945	3,325	4,910	4,800	4,094	36,974
2024	3,029	1,581	1,334	1,701	2,399	1,776	1,566	1,698	2,367	3,495	3,503	3,093	27,542



愛子工場 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 電気業者/ミツウロコGE 排出係数/0.462kg-CO2/kwh

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	1,085	836	677	1,000	1,664	1,961	1,082	902	1,543	2,278	2,227	1,900	17,156
2024	1,399	730	616	786	1,108	821	723	784	1,094	1,615	1,618	1,429	12,724

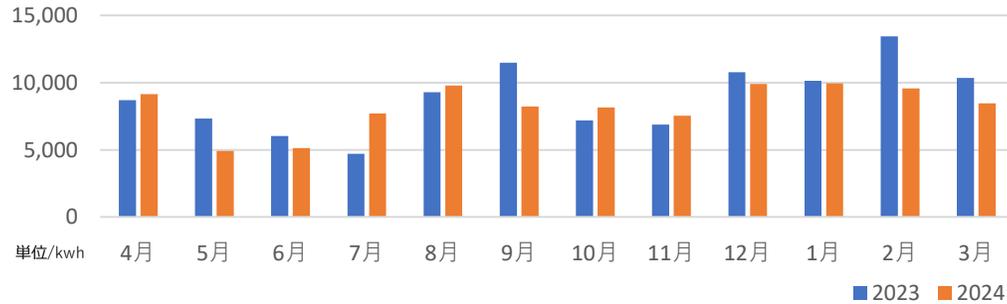


7. 実績と評価 【 二酸化炭素排出量の削減 】

電気使用量の削減

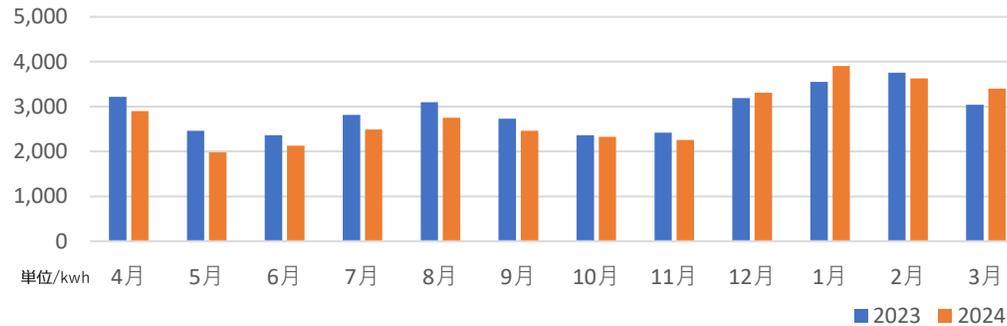
仙台工場 電気使用量 (kwh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	8,697	7,330	6,034	4,716	9,304	11,497	7,185	6,881	10,780	10,140	13,450	10,362	106,376
2024	9,162	4,916	5,132	7,714	9,793	8,237	8,157	7,536	9,914	9,959	9,587	8,477	98,584



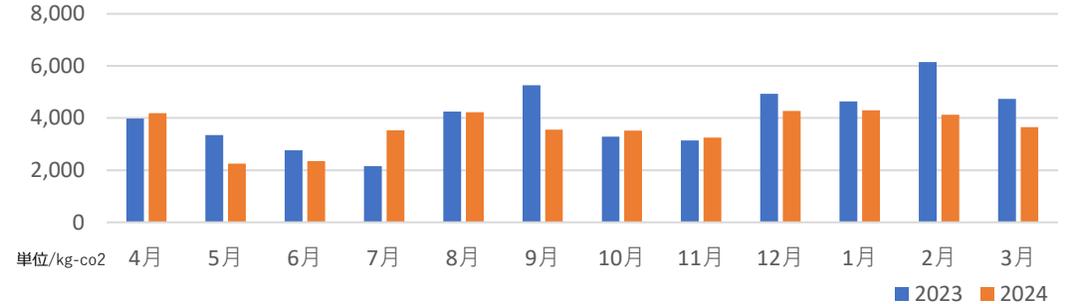
他拠点 (宇都宮、山形R&D、福島) 合計 電気使用量 (kwh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	3,217	2,462	2,365	2,817	3,097	2,729	2,361	2,420	3,191	3,550	3,756	3,042	35,007
2024	2,897	1,978	2,126	2,490	2,749	2,458	2,325	2,253	3,306	3,904	3,629	3,404	33,519



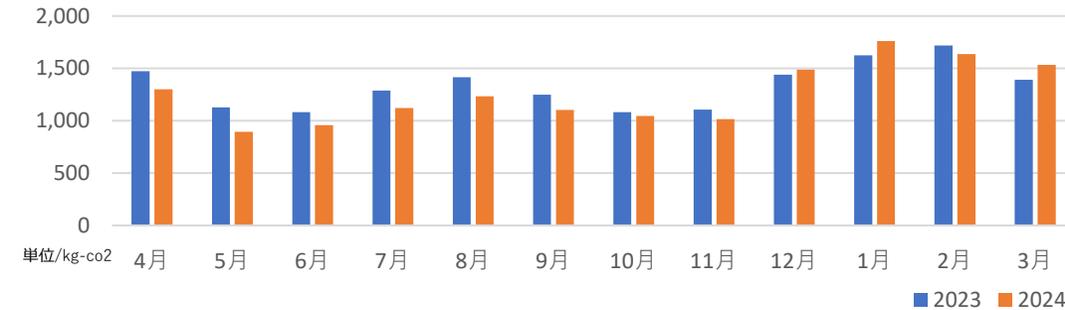
仙台工場 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 電気業者/九電みらいEG 排出係数/0.431kg-CO2/kwh

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	3,975	3,350	2,758	2,155	4,252	5,254	3,284	3,145	4,926	4,634	6,147	4,735	48,614
2024	4,187	2,247	2,345	3,525	4,221	3,550	3,516	3,248	4,273	4,292	4,132	3,654	43,190



他拠点 (宇都宮、山形R&D、福島) 合計 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 東京電力/東北電力

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	1,470	1,125	1,081	1,287	1,415	1,247	1,079	1,106	1,438	1,622	1,717	1,390	15,978
2024	1,299	891	955	1,119	1,232	1,102	1,045	1,015	1,487	1,760	1,635	1,530	15,071



評価

愛子工場の電気使用量が4月下旬にエアコンを入れ替えた事により、5月以降使用量、排出量ともに前年を下回っている。
 仙台工場も冬季の使用量が減っており、前年と比較すると今年度は使用が高い月と低い月では差が少ない。

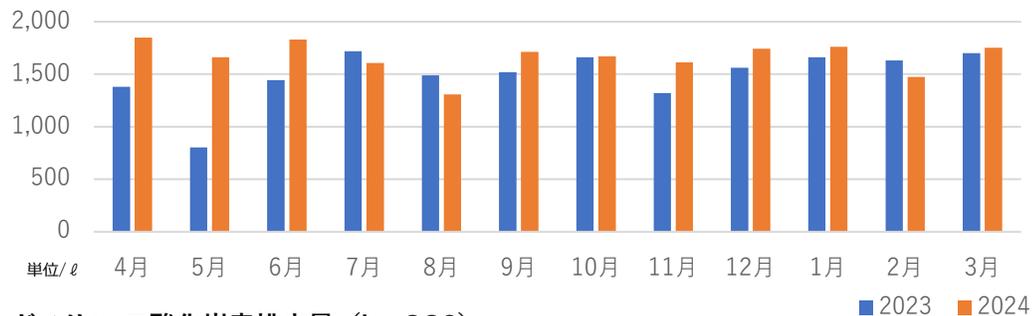
ガソリン使用量の削減

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
ガソリン使用量の削減	2023年	41,496.61 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	40,250 kg-CO2	実績 46,358.50 kg-CO2 基準年度比 111.7%	× ハイブリッド車は導入しているが出張・外出する機会が増えガソリン使用が増加となった

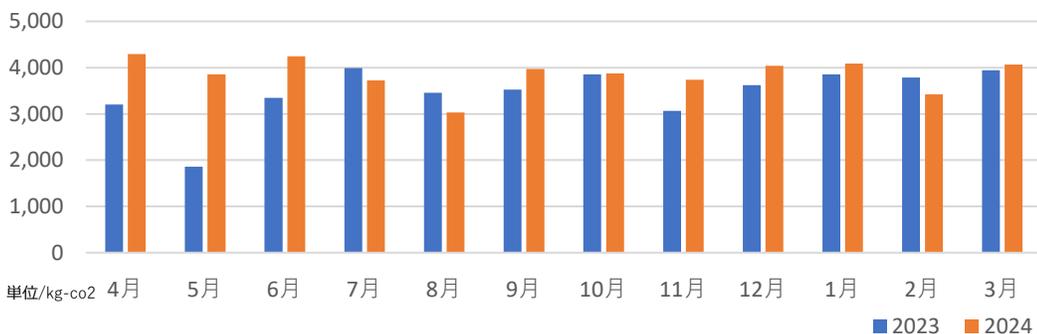
ガソリン 使用量 (ℓ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	1,379	802	1,444	1,720	1,489	1,519	1,661	1,321	1,561	1,660	1,631	1,700	17,886
2024	1,849	1,662	1,831	1,606	1,307	1,712	1,671	1,612	1,742	1,762	1,475	1,752	19,982



ガソリン 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	3,200	1,860	3,350	3,990	3,454	3,524	3,854	3,065	3,623	3,851	3,784	3,944	41,497
2024	4,290	3,855	4,247	3,726	3,033	3,971	3,877	3,740	4,042	4,089	3,423	4,065	46,358



評価

使用量及びCO2排出量ともに2年連続で増加となった。

昨年度、ガソリン車4台をハイブリット車へ乗り換えほぼ全車エコカーとなったが、営業にかかわる外出、出張が増えまた業務連携強化により各部署ともグループ会社への往訪が増えていることが要因となっている。

来期はエコドライブを含め安全運転の教育を計画し、全社で意識を高めていく。また社有車管理に関しては、各管轄部署が責任を持って簡易点検を実施しており、タイヤ空気圧・摩擦など細かな管理で燃費向上を目指します。



7. 実績と評価 【 廃棄物排出の削減 】

一般廃棄物排出量把握

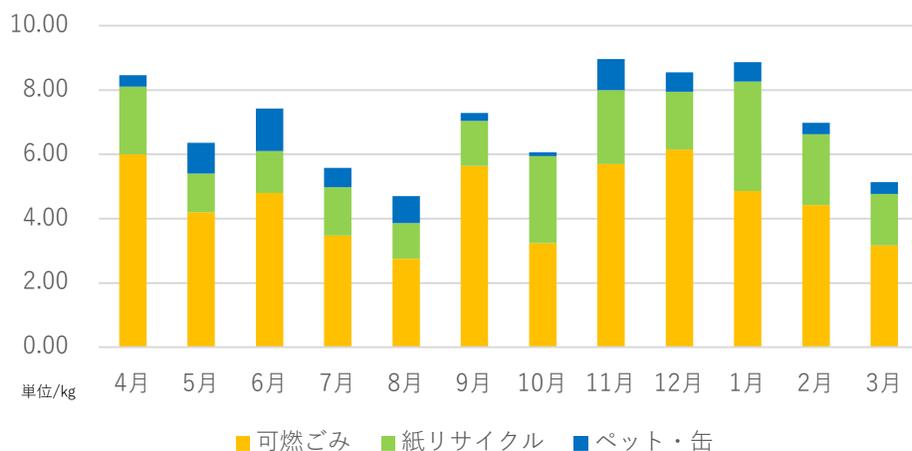
達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い



項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
一般廃棄物排出量の削減	2022年	96.12 kg	基準年度実績の3%削減 (可燃ごみ、ペットボトル・缶、紙)	93.00 kg	実績 84.34 kg 基準年度比 87.7% (12.3%減)	◎ 可燃ごみ、資源ごみ共に全体的に減少している。ペーパーレス化が進んだ事も起因となった

kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
可燃ごみ	6.00	4.20	4.80	3.48	2.76	5.64	3.24	5.70	6.15	4.86	4.42	3.17	54.42
紙リサイクル	2.10	1.20	1.30	1.50	1.10	1.40	2.70	2.30	1.80	3.40	2.20	1.60	22.60
ペット・缶	0.36	0.96	1.32	0.60	0.84	0.24	0.12	0.96	0.60	0.60	0.36	0.36	7.32
合計	8.46	6.36	7.42	5.58	4.70	7.28	6.06	8.96	8.55	8.86	6.98	5.13	84.34

月別 一般廃棄物排出量



評価

基準年度から12.3%減の11.78kg減らすことができ、目標を達成することができた。種類別の排出量は下記の通りである。

- ・可燃ゴミ … 実績453袋 基準年度比 80袋 減
- ・紙リサイクル … 実績226袋 基準年度比 20袋 減
- ・缶・ペット・瓶 … 実績 61袋 基準年度比 4袋 減

7. 実績と評価 【 廃棄物排出の削減 】

コピー用紙の削減

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い

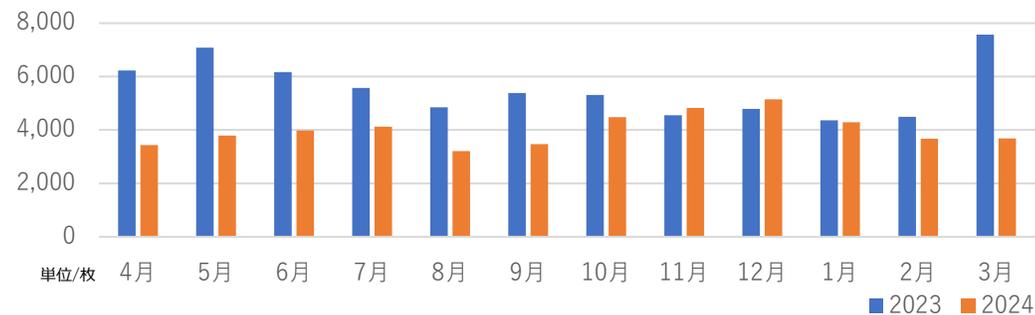


項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
コピー用紙の削減	2022年	277,289 枚	基準年度実績の3%削減	268,970 枚	実績 205,844 枚 基準年度比 74.2% (71,445枚減)	◎ 書類のデータ化によるペーパーレス化が進んだことが起因となった

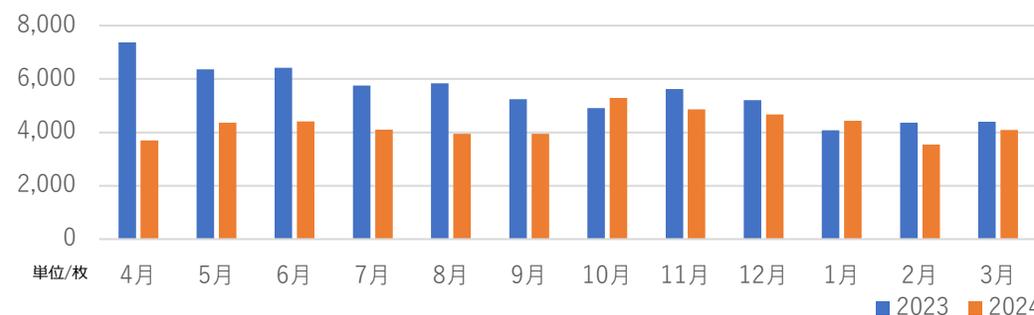
本社	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	4,249	4,268	5,359	11,236	4,032	5,519	5,161	3,992	4,149	3,722	3,375	4,285	59,347
2024	4,564	5,215	5,431	13,609	4,727	7,402	5,773	4,397	4,566	5,056	3,767	3,954	68,461



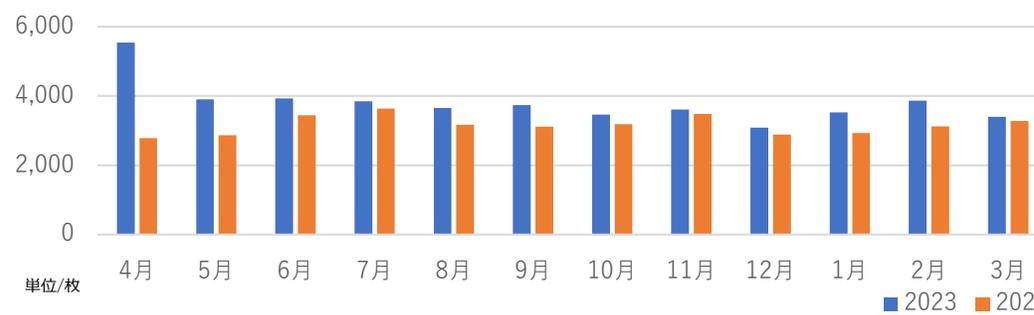
仙台	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	6,235	7,088	6,164	5,571	4,850	5,388	5,311	4,548	4,794	4,362	4,489	7,572	66,372
2024	3,430	3,787	3,985	4,120	3,212	3,475	4,477	4,824	5,153	4,290	3,668	3,679	48,100



愛子	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	7,373	6,361	6,420	5,752	5,836	5,246	4,916	5,622	5,207	4,080	4,368	4,394	65,575
2024	3,700	4,367	4,412	4,105	3,947	3,945	5,291	4,858	4,668	4,437	3,540	4,090	51,360

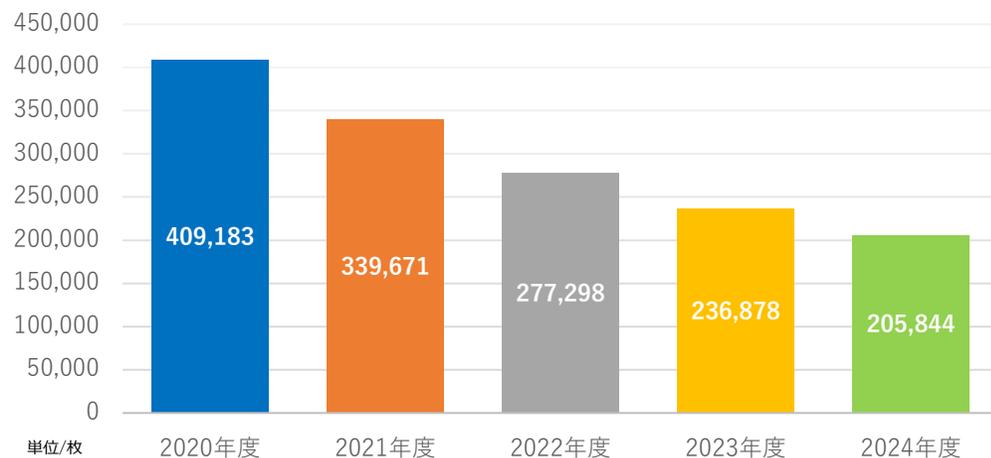


他計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	5,542	3,906	3,933	3,849	3,660	3,742	3,461	3,607	3,089	3,527	3,867	3,401	45,584
2024	2,786	2,871	3,448	3,637	3,170	3,114	3,187	3,484	2,889	2,929	3,126	3,282	37,923

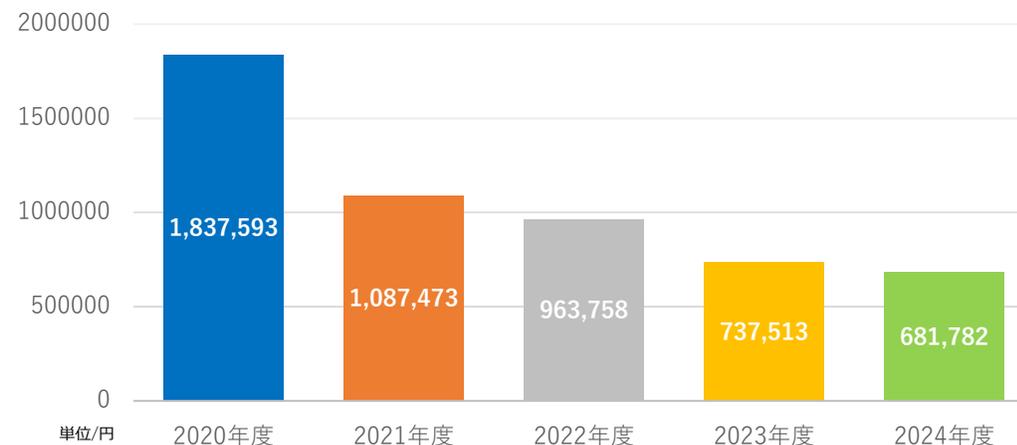


コピー用紙の削減

使用枚数 合計



使用料金 合計



評価

使用枚数全体としては基準年度（2022年度）より25.8%減の71,454枚減となっており、約コピー用紙14箱分削減となっている。

また前年実績からの増減は拠点別では次の通りである。

- ・ 本社…15.4%増（9,114枚増）、愛子工場…21.7%減（14,215枚減）、仙台工場…27.5%（18,272枚減）、他拠点計…16.8%減（7,661）

社内で進めている電子化によるペーパーレス化と、またお取引先様側でも電子化により紙でのやり取りが減少しているのが要因となっている。

4年前（2020年度）よりも減少幅が大きく、使用料金の面でも大きく減額となっている。

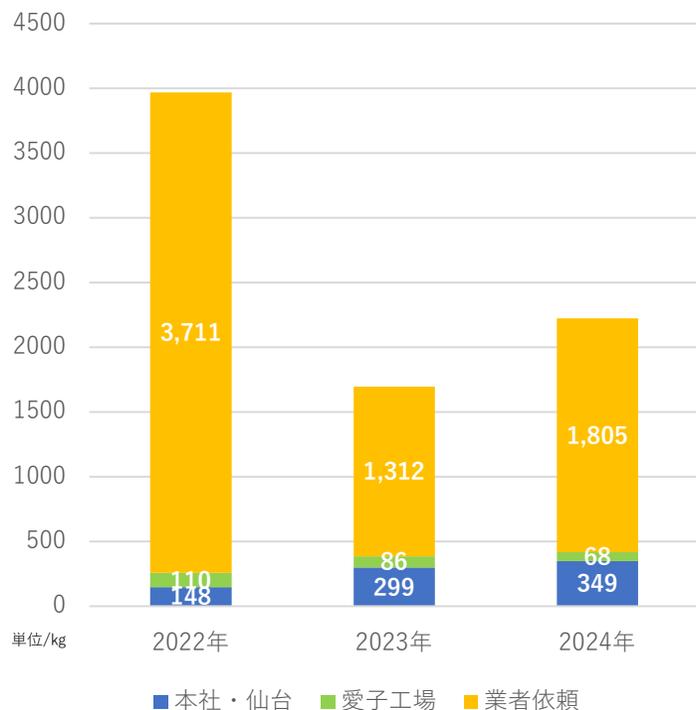
今後も更に電子化を進め、更なるペーパーレス・紙削減をおこなっていく。

産業廃棄物の削減

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み〜やや悪い
 ○：良い ×：悪い

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
産業廃棄物の削減	2023年	1,697.00 kg	基準年度実績の3%削減	1,645 kg	実績 2,222 kg 基準年度比 130.9%	× 今期は不動在庫処分による廃プラスチックの廃棄が増えた

産業廃棄物 総排出量



2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本社	25	18	12	4	14	11	7	5	23	12	12	5	148
愛子工場	14	6	12	8	6	18	8	6	14	4	8	6	110
業者依頼	0	0	0	0	2,070	0	501	0	0	0	0	1,140	3,711

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本社・仙台	43	27	32	19	28	18	14	21	27	21	24	25	299
愛子工場	10	14	8	6	6	6	8	6	8	4	6	4	86
業者依頼	0	0	320	0	0	0	0	0	0	5	300	687	1,312

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本社・仙台	22	24	27	26	12	17	29	50	40	44	33	25	349
愛子工場	8	6	6	2	6	2	10	6	8	6	4	4	68
業者依頼	0	0	0	0	0	0	230	0	0	5	0	1,570	1,805

評価

今年度は、基準年度に比べ不動在庫処分によるプラスチック類の廃棄が増えた。週次で回収されている廃プラに関しては、本社・仙台分が50kgの増、愛子工場が18kg減となっている。引き続き管理をおこない分別を徹底し廃物削減およびリサイクル率を上げていく。

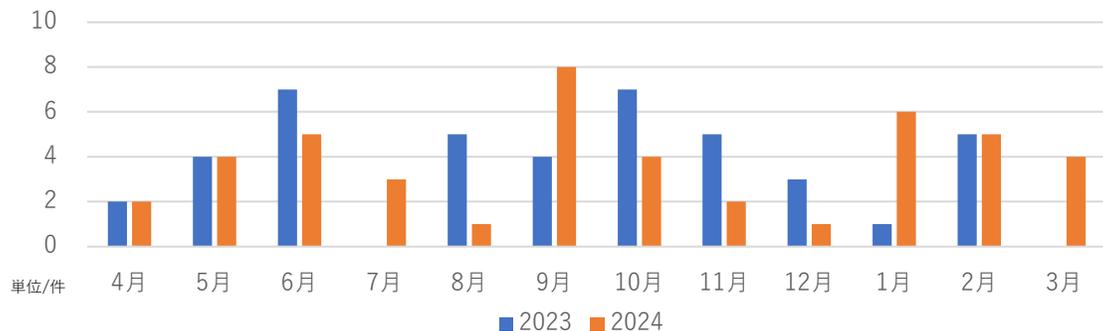
7. 実績と評価 【製品サービス関連】

顧客クレームの削減

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
顧客クレームの削減	2022年	50件	月件数3件以内	36件以内	実績 45件 基準年度比 △5件	△ 基準年度からは5件減少したが、目標には届かず。引き続き削減を目指す

顧客クレーム件数



評価

目標値を達成することが出来なかったが、基準年度からは10%減の、5件減らすことができました。今期は社内件数が8割を超えており、引き続き、品質管理グループと連携し顧客クレームの低減を図り、修理工程や工数で発生するムダな電気使用量と廃棄物を減らし、環境への負荷軽減を強化する。

その他

達成状況評価
 ◎：非常に良い △：基準年度並み～やや悪い
 ○：良い ×：悪い

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2024年4月1日～2025年3月31日まで）		達成状況	評価 / 対策等
			内容	目標値		
コミュニケーション向上	2022年	年/1回	環境教育の実施	年/1回	環境レポート全社への共有展開	◎ 次回テーマを設定し、環境に関する勉強会を開催していく
地域貢献活動	2022年	年/4回	会社周辺清掃活動	年/4回 (3ヶ月/1回)	各工場3ヶ月1回実施済	◎ 拠点ごとに実施することができた

評価

今年度の環境教育は環境レポートを全社で共有展開をおこなった。会社周辺清掃活動は担当割当てをし、全従業員で実施をした。また、来期は今期着手できなかった「仙台まち美化サポート・プログラム」へ登録申請を検討し、活動範囲を拡大していく。



一般的には「アダプト・プログラム」と言われ、参加する団体と市が活動内容などについて、あらかじめ覚書を交わし、市が管理する道路や公園などの清掃や除草等の活動をボランティアにより定期的・継続的に行うもので、仙台市だけではなく、国をはじめとして、他の多くの自治体でも取り組みを始めており、市民・事業者と行政のパートナーシップで取組む、新しい美化システム。

電気・ガソリン使用量の削減

(結果欄 / ○:実施済)

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)	結果	
						2024/4- 2024/9	2024/10- 2025/3
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減	■不要エリア消灯の継続	通年	全社	全員	○	○
		■エアコン・換気扇のフィルター清掃	6月、12月	全社	掃除担当	○	○
		■ノー残業デーの継続	通年	全社	全員	○	○
		■空調の適温化 (温度管理の継続)	通年	全社	GM、Mg	○	○
		■デマンド監視を利用した電力管理	通年	本社	EA21事務局	○	○
	ガソリン使用量の削減	■エコドライブの推進	通年	全社有車	車両運転者全員	○	○
		■車両点検の実施 (空気圧、摩耗 点検)	毎月	全社有車	管轄部署	○	○

ハイブリッドファンの設置



ハイブリッドファンを設置しました。エアコンからの直撃風を和らげ、冷気や暖気を社内の隅々まで循環させて空調効率を向上させて、電気使用量を少しでも減らしていきます！

チャイム付時計の設置



本社3階に「チャイム付時計」を設置しました。チャイム付の時計を導入することにより、業務時間内外のメリハリをつけ、ムダを減らしていきます。そこから、時間効率をアップさせ、環境負荷を減らしていきます！

エコドライブPOPの掲示



すべての社用車に、エコドライブ促進のPOPを掲示しました。エコドライブを心掛けることで、燃料消費を抑え、CO2排出量の削減を目指しております！

一般・産業廃棄物の削減

(結果欄 / ○:実施済)

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)	結果	
						2024/4-2024/9	2024/10-2025/3
廃棄物	一般廃棄物の削減	■分別の徹底 (可燃ごみ、紙リサイクル)	通年	廃棄物置場	全員	○	○
		■コピー用紙削減の継続	通年	全社	全員	○	○
		■ペーパーレスの推進	通年	全社	全員	○	○
		■排出量の把握 (可燃、缶ペット、紙)	通年	全社	EA21推進員	○	○
	産業廃棄物の削減	■分別の徹底 (廃棄物、リサイクル)	通年	廃棄物置場	全員	○	○
		■廃棄物の資源化 (基板、金属リサイクル)	通年	廃棄物置場	全員	×	×
		■各作業工程での廃棄材料の削減	通年	全社	全員	○	○
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	総務	EA21事務局	○	○

産業廃棄物の区画整理



産廃置場の区画整理、分別区分を改善・実施しました！
引き続き、有価物のリサイクル化を推進し廃棄物を減らしていきます！

裏紙再利用BOXの設置

裏紙再利用BOXを設置し、裏紙使用を継続して推進しました！
複合機のすぐ横に設置しているので分かりやすい！



ごみ廃棄ポスターの掲示



ごみ廃棄のポスターを掲示し、継続して廃棄物抑制をおこないました。
ごみ袋単価も記載されていて、コスト面からも廃棄物削減を呼びかけました！

水道使用量の削減・地域貢献・環境教育

(結果欄 / ○:実施済)

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)	結果	
						2024/4- 2024/9	2024/10- 2025/3
水	水道使用量の削減	■水使用時の節水推進の継続	通年	全社	全員	○	○

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)	結果	
						2024/4- 2024/9	2024/10- 2025/3
その他	地域貢献・環境保全	■会社周辺道路の清掃活動の継続	毎月	会社周辺	担当者	○	○
	環境教育の実施	■全社員へ環境に関する教育を実施	2月	全社	EA21推進員	×	×
	環境への意識向上	■マイ箸、マイ水筒、マイバックの推進	通年	全社	EA21推進員	○	○

会社周辺の清掃活動

本社と仙台工場の往来の際に使用している、地下道の清掃を行ないました。



●消防設備説明会、消火器疑似体験を実施しました！！



●AEDの設置、取扱い説明会を実施いたしました！！



9. 環境関連法規 等 遵守状況

環境関連法規等名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業活動に伴い発生した廃棄物は自らの責任で適正に処理すること。	○
	土地の占有者（管理者）は、管理している土地、建物を清潔に保つこと。	○
	所有占有する土地に不正に処理された廃棄物を発見したときは速やかに県知事に通報する。	○
	産業廃棄物が運搬までの間、保管基準に従い、保管すること。	○
	周囲に囲いを設け、見やすいところに掲示板（規定の大きさと表示内容）を設置。	○
	一般廃棄物の分別、保管等を行い、市町村に協力する義務がある。	○
	一般廃棄物の運搬、処分を他人に委託する場合、許可された業者に委託すること。	○
	委託業者の事業の範囲を許可証により確認すること。	○
	事業者は、産業廃棄物を自ら処理しなければならない。	○
	運搬・処分・再生を委託するときは、許可を受けた処理業者等であること。	○
	委託業者の事業の範囲を許可証により確認すること。	○
	委託契約は、収集運搬業者及び処分業者と別々に行うこと。	○
	水銀使用製品産業廃棄物の廃棄については、業の許可（取り扱う廃棄物の種類）に「水銀使用製品産業廃棄物」が含まれていること	○
	委託先の中間処理施設や最終処分場について、委託した産業廃棄物が適切に処理されているかを確認する。	○
	委託契約は、必要な添付書類（則8条の4）を添えて、書面により行う。	○
	・産廃の運搬・処分を委託する場合には管理票を交付する。（廃棄物の種類ごとに発行） ・水銀使用製品産業廃棄物の廃棄については、産業廃棄物の種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物」が含まれること、その数量を明記すること	○
	排出した産業廃棄物の最終処分をE票の返送で確認する。	○
	90日以内にB2票、D票が返却されない場合、管理票交付後180日経過後もE票の返却がない場合、委託先に調査後、県知事へ報告提出する。	○
管理票は5年間以上、適切に保管する。	○	
運搬を終了した日から原則10日以内にB2票が返送されていること。	○	
処分を終了した日から原則10日以内にD票が返送されていること。	○	
マニフェスト交付状況を毎年6月30日までに様式3により、県知事に報告する。	○	

環境関連法規等名称	要求事項	遵守状況
フロン排出抑制法	3ヶ月に1回以上の頻度で、冷蔵機器及び冷凍機器の庫内温度、製品からの異音、製品外観（配管含む）の損傷、腐食、錆、油のにじみ、並びに熱交換器の霜付き等の冷媒として充填されているフロン類の漏洩の兆候の有無 ※点検の記録は、当該機器が廃棄されるまで保管する	○
	定期的に直説法や間接法による冷媒漏洩検査（定期検査）を実施すること（都道府県による勧告、命令等の対象となる義務的点検） ★定格出力7.5kw以上の冷凍冷蔵機器：1年に1回以上 ★定格出力50kw以上の空調機器：1年に1回以上 ★定格出力7.5kw～50kwの空調機器：3年に1回以上 ※フロン類及び第1種特定製品の専門点検方法について十分な知見を有する者が検査を自ら行い又は検査に立ち会うこと ※点検の記録は、当該機器が廃棄されるまで保管する	○
	第1種特定製品の廃棄等を行うとする第1種特定製品の管理者（第1種特定製品廃棄等実施者）は、第1種フロン類充填回収業者に対し、充填されているフロン類を引き渡すこと	○
	何人も、みだりに特定製品に充填されているフロン類を大気に放出してはならない	○
	第1種特定製品廃棄等実施者は、フロン類を第1種フロン回収業者に引き渡す場合には「書面」を交付する。	○
	第1種特定製品廃棄等実施者は、フロン類の引き渡しを第1種フロン類引渡受託者に委託する場合には「委託確認書」を交付する。	○
自動車リサイクル法 (使用済み自動車の再資源化等に関する法律)	委託確認書の写し及び再委託承諾書は3年間保存する。	○
	使用済みとなった自動車を登録を受けた引取業者に引き渡す。	○
	引き取り業者に引き渡す際、引取証明書の発行を受ける。	○
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	自動車所有者は、購入時、最初の車検時、廃車時のいずれかの時点で、リサイクル費用を支払う。	○
	特定家庭用機器を長期間使用し、廃棄物の排出を抑制する。	○
	排出する場合には、料金を支払い、再商品化実施者に適切に引き渡す。	○
	排出者は、小売り業者から、廃棄物一品ごとに必要事項を記入した特定家庭用機器廃棄物管理票（家電マニフェスト）の写しの交付を受ける。	○



環境関連法規への違反事例は確認されず関係当局からの指摘はありませんでした。
また、会社周辺住民を含む社外からの苦情もありませんでした。

10. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

環境経営目標

項目	基準年度	実績値	環境経営目標（2025年4月1日～2026年3月31日まで）		中期経営目標（期間：2026年度～2028年度）				
			内容	目標値	内容	2026年	2027年	2028年	
二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量	2023年	189,166.54 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	183,500 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (5,674.99 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
	■電気使用量の削減	2023年	139,528.09 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	135,400 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (4,185.84 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
	■ガンリン使用量の削減	2023年	41,496.61 kg-CO2	基準年度実績の3%削減	40,250 kg-CO2	基準年度実績値からの3%削減 (1,244.89 kg-CO2)	3%削減	3%削減	3%削減
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物排出量の削減	2022年	96.12 kg	基準年度実績の3%削減 (可燃ごみ、ペットボトル・缶、紙)	93.00 kg	基準年度実績からの3%削減 (2.88 kg)	3%削減	3%削減	3%削減
	■コピー用紙の削減	2022年	277,289 枚	基準年度実績の3%削減	268,970 枚	基準年度実績値からの3%削減 (8,319 枚)	3%削減	3%削減	3%削減
	■産業廃棄物の削減	2023年	1,697.00 kg	基準年度実績の3%削減	1,645 kg	基準年度実績値からの3%削減 (50.91 kg)	3%削減	3%削減	3%削減
	■有価リサイクル	-	-	金属くず類、基板、雑線の売却	-	有価物の把握、分別の徹底 回収業者の新規開拓	-	-	-
水使用量の削減	■水使用量の維持・励行 ※実績は確認できる3拠点のみ (本社・愛子工場・仙台工場)	2023年	578 m ³	基準年度実績値からの維持 (範囲 ±5～10% 以内)	560 ～ 680m³ 内	基準年度実績値からの ±5～10%範囲維持	±5～10%	±5～10%	±5～10%
製品サービス関連	■顧客クレームの削減	2022年	50件	月件数2件以内	24 件以内	基準年度実績値からの50%削減	50%削減	50%削減	50%削減
その他	■コミュニケーション向上	2022年	年/1回	環境教育の実施	年/1回	環境教育の実施	1回実施	1回実施	1回実施
	■地域貢献活動	2022年	年/4回	会社周辺清掃活動	年/4回 (3ヶ月/1回)	会社周辺清掃活動	年4回実施	年4回実施	年4回実施

10. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

環境経営計画

環境目標	活動・取組項目	活動内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	該当場所・部署 (どこで)	担当者 (だれが)
二酸化炭素排出量	■電気使用量の削減	■不要エリア消灯の継続	通年	全社	全員
		■エアコン・換気扇のフィルター清掃	6月、12月	全社	掃除担当
		■ノー残業デーの継続	通年	全社	全員
		■空調の適温化（温度管理の継続）	通年	全社	GM、Mg
		■デマンド監視を利用した電力管理	通年	本社	EA21事務局
	■ガソリン使用量の削減	■エコドライブの推進	通年	全社有車	車両運転者全員
		■車両点検の実施（空気圧、摩耗点検）	毎月	全社有車	管轄部署
廃棄物	■一般廃棄物の削減	■分別の徹底（可燃ごみ、紙リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■コピー用紙削減の継続	通年	全社	全員
		■ペーパーレスの推進	通年	全社	全員
		■排出量の把握（可燃、缶ペット、紙）	通年	全社	EA21推進員
	■産業廃棄物の削減	■分別の徹底（廃棄物、リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■廃棄物の資源化（基板、金属リサイクル）	通年	廃棄物置場	全員
		■各作業工程での廃棄材料の削減	通年	全社	全員
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	総務	EA21事務局
水	■水道使用量の削減	■水使用時の節水推進の継続	通年	全社	全員
製品・サービス	■顧客クレームの削減	■品質会議の開催	毎月	品質管理G	品質会議メンバー
その他	■地域貢献・環境保全	■会社周辺道路の清掃活動の継続	毎月	会社周辺	担当者
	■環境教育の実施	■全社員へ環境に関する教育を実施	2月	全社	EA21推進員
	■環境への意識向上	■マイ箸、マイ水筒、マイバックの推進	通年	全社	EA21推進員

項目	継続・変更	変更の要旨
環境経営方針	変更	東北エヌイーエレクトロとの一括認証の為、一部変更
環境経営目標	継続	継続して下さい
環境経営計画	継続	継続してください
実施体制	変更	環境管理責任者・事務局担当の変更および東北エヌイーエレクトロの追加

全体の評価

1. 環境経営システムが有効に機能しているか

有効に機能していると判断します。

取引先様も環境に関する意識が高まり要求事項も増えていくので、引き続き会社の取組みが評価をいただけるよう環境に関する活動を確実に実行して欲しいと思います。

2. 環境への取組は適切に実施されているか

電気使用量削減が二酸化炭素排出量削減につながり、適切に取組みが実施されていると感じております。

今年度は従業員駐車場も完成し、管理の範囲も広がるが各拠点も含め環境保全・美化を意識し取組みを継続して下さい。

指示

東北エヌイーエレクトロと連携をとり従業員全員を巻き込んで環境活動を積極的に行って下さい。



2024年8月 従業員駐車場完成！！

車が60台以上
も駐車できる
んだって！
広いね～

